

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月13日 (2011.10.13)

【公開番号】特開2007-314524(P2007-314524A)

【公開日】平成19年12月6日 (2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2007-115215(P2007-115215)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/22 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/88 (2006.01)

A 6 1 Q 5/08 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/22

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/88

A 6 1 Q 5/08

A 6 1 Q 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月31日 (2011.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルカリ剤を含有する第 1 剤、過酸化水素を含有する第 2 剤及び第 1 剤と第 2 剤の混合液を泡状に吐出するためのノンエアゾールタイプのフォーマー容器からなる 2 剤式染毛剤であって、混合液中に次の成分(A)及び(B)：

(A) 界面活性剤 1 ～ 15 重量 %

(B) 不揮発性親水性溶剤 0.1 ～ 5 重量 %

を含有し、成分(A)の成分(B)に対する重量比（成分(A)の含有量 / 成分(B)の含有量）が 1 ～ 20 である 2 剤式染毛剤。

【請求項 2】

第 1 剤と第 2 剤の混合液中において、成分(A)として、次の(A1)～(A3)：

(A1) アニオン界面活性剤 0.01 ～ 14.8 重量 %

(A2) 両性界面活性剤 0.001 ～ 5 重量 %

(A3) 非イオン界面活性剤 0.1 ～ 14.8 重量 %

を含有する請求項 1 記載の 2 剤式染毛剤。

【請求項 3】

更に成分(C)として、高級アルコールを第 1 剤と第 2 剤の混合液中に 0.01 ～ 0.8 重量 % 含有する請求項 1 又は 2 記載の 2 剤式染毛剤。

【請求項 4】

更に成分(D)として、塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリルアミド共重合体を第 1 剤と第 2 剤の混合液中に 0.01 ～ 3 重量 % 含有する請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の 2 剤式染毛剤。

## 【請求項 5】

更に成分(E)として、塩化ジメチルジアリルアンモニウム・アクリル酸共重合体を第 1 剤と第 2 剤の混合液中に 0.01 ~ 0.5 重量 % 含有する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の 2 剤式染毛剤。

## 【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の 2 剤式染毛剤を用いた染毛方法であって、ノンエアゾールタイプのフォーマー容器内で第 1 剤と第 2 剤を混合した後、混合液を当該容器から泡状に吐出し、手を使って毛髪に塗布した後、3 ~ 60 分間放置し、洗い流す染毛方法。